

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和6年11月6日

計画の名称	災害に備えるやまぐちのみちづくり（国土強靱化・防災・安全）			重点配分対象の該当	○		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和4年度（2年間）		交付対象	山口県・防府市			
計画の目標	・地震や大雨などによる自然災害等に備えるため、脆弱な区間を改良することにより、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの充実・強化を推進する。 ・災害時等における救急活動を支援するため、狭隘な道路の拡幅や、バイパス整備による線形不良箇所の改善等、緊急車両等の迅速かつ円滑な通行を確保する。						
計画の成果目標（定量的指標）	・整備中の路線において、災害時に脆弱となる区間の対策率を51%にする。						
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考	
				当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R3末)		最終目標値 (R4末)
	・計画期間内において、災害時に脆弱となる区間の道路改良の実施率を算出する。 道路改良の実施率（％）＝（災害時に脆弱となる区間を解消した箇所数／災害時に脆弱となる箇所数）×１００			３５％	４８％	５１％	

事後評価

実施体制、実施時期 事後評価												
実施体制 土木建築部評価システム検討委員会にて、事後評価を実施								実施時期				
								事業完了後				
								公表の方法				
								山口県ホームページに掲載				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,300百万円	A	1,300百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業																	
A 期間事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R3	R4							
A01-001	道路	一般	山口県	直接	山口県	(一) 陶湯田線・黒川工区	バイパス 0.7km	山口市						380			
A01-002	道路	一般	山口県	直接	山口県	(主) 美祢油谷線・砂利ヶ峠工区	バイパス 2.0km	長門市						50			
A01-003	道路	一般	山口県	直接	山口県	(一) 油谷港線・久津工区	バイパス 0.4km	長門市						150			
A01-004	道路	一般	山口県	直接	山口県	(主) 山口福栄須佐線・平わらび工区	バイパス 0.6km	萩市						100			
A01-005	道路	一般	防府市	直接	防府市	(他) 四ノ樹三ノ樹線他	道路改良 1.0km	防府市						291			
A01-006	道路	一般	防府市	直接	防府市	(1) 栄町藤本町線	現道拡幅 0.26km	防府市						249			
A01-007	道路	一般	山口県	直接	山口県	(国) 490号・木間工区	現道拡幅 0.4km	萩市						80			
									合計					1,300			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R3	R4							
									合計								
C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									R3	R4							
									合計								

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									R3	R4					
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・（主）美祢油谷線・砂利ヶ峠工区のバイパス整備等を実施し、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの充実・強化を推進した。			
II 定量的指標の達成状況	定量的指標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値 に差が出た要因
	指標①（計画期間内において、災害時に脆弱となる区間の道路改良の実施率）	51 %	57 %	効率的な事業執行に努め、目標を達成した。
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）				

3. 特記事項(今後の方針等)

・引き続き、狭隘な道路の拡幅を行い、脆弱な区間を改良することで、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの充実・強化を推進する。
--

